

<p>科目名：生体機能関連化学特論  ( 英 文 名 : Chemistry of Bioscience and Biotechnology)  担当教員：木島 龍朗</p>	<p>開講学期：前期  単位数：2  開講形態：講義・演習</p>
<p>開講対象： 物質生産工学専攻</p>	
<p><b>【到達（達成）目標】</b>  生体機能関連化合物（特に酵素）のもつ優れた機能が、我々の身近なところですでに広く応用されていることを理解し、その具体的な応用面への着眼点や考え方の重要性を理解する。</p> <p><b>【授業概要・計画】</b>  第1～5週：ゲノミクスとプロテオミクス  第6～10週：タンパク質の構造と機能の進化  第11～15週：タンパク質工学，フォールディング，構造予測とデザイン</p> <p><b>【成績評価の方法と基準】</b>  レポート（口頭試問）により達成度を判断する。</p> <p><b>【参考書】</b>  ポストゲノム時代のタンパク質科学  Introduction to Protein Science, Architecture, Function, &amp; Genomics <i>Oxford University Press</i></p> <p><b>【担当教員の専門分野】</b>  有機化学，有機合成化学，酵素化学</p>	